

# 大学生の防災意識に過去の教育歴が及ぼす影響

立道大夢

学校や地域を対象に、意識啓発、災害の知識、発災時の判断・行動の教育を中心に防災意識向上のための取り組みが実施されてきた。小中高生は学校次第で取り組みを受けるが、大学生は防災の専門の大学以外では自発的ではないと学校で受けることはほぼない。小中高生に比べ、防災に関して触れる可能性が低い大学生の防災意識はどんなものなのか興味を持ち、本研究をやろうと決めた。

小中高生は防災教育を学校などで受けているのだが、大学生は自分から学ぼうと思わないと防災教育はやらないので今回は大学生をターゲットに決めた。大学生は小中高で防災教育をしてきた人たちのほうが防災教育をしていない人よりも防災意識は高いのではないかという仮説を立て、大学生の防災意識が高い人は過去に防災教育を受けてきた人だったり、逆に防災意識が低い人は過去にあまり防災教育を受けてこなかったりと今まで防災教育を受けてきたかどうかで大学生の防災意識は変わってくるのではないかというのを明らかにして過去の防災教育歴と大学生の防災意識に何か関係があるのではないかをアンケートから探っていった。

本研究ではグーグルフォームで質問を書き自分と同じゼミ生の人にオンラインで答えてもらい、2年生から4年生の飯塚ゼミのグループラインにグーグルフォームがあるURLを張り回答してもらった。全部で39の質問を用意し、その質問に答えてもらうことで大学生の防災意識が高いか低いかを出したり、過去に防災教育をしている頻度などを見ていった。大学生の防災意識と過去の防災教育に何か関係がないかをゴールに見ていった。

アンケートを取った結果17人が回答してくれて、防災意識尺度で平均よりも高かったのは10人で、平均以下であったのが7人であった。その中で男性は7人で女性は10人であった。2年生が4人で3年生が6人、4年生が7人であった。千葉県が2人、埼玉県8人、東京都が4人、茨城県が2人で、静岡県が1人でその中で実家暮らしが14人、一人暮らしが3人であった。

アンケートの結果からクロス集計して見ていったとき防災教育をしていた人は防災意識が高いとは言にくく、防災教育歴が長い人は防災意識が高いと言えた。

学年の防災意識を見ていったときは4年生よりも2.3年生の方が少し防災意識は高いと言えた。

次に男性と女性で見ていったときに女性よりも男性の方が防災教育をしていることが分かった。防災意識では男性よりも女性の方が少し防災意識は高いと言えた。

最後は出身地についてで、票数が多かった埼玉県と東京を見ていった。埼玉県よりも東京の方が防災意識は高いと言え、埼玉県よりも東京の方が防災教育歴は長いと言える考察をした。

最終的に大学生の防災意識に過去の教育歴が及ぼす影響は過去に防災教育をすればするほど大学生の防災意識が高い人が多いということであった。